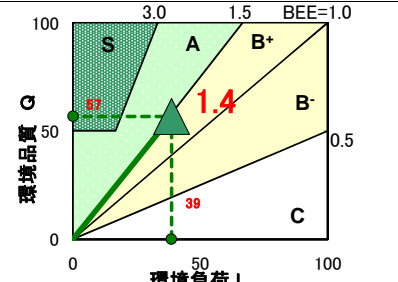
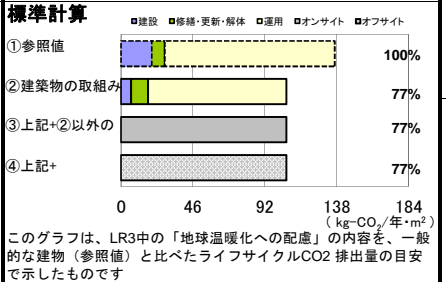
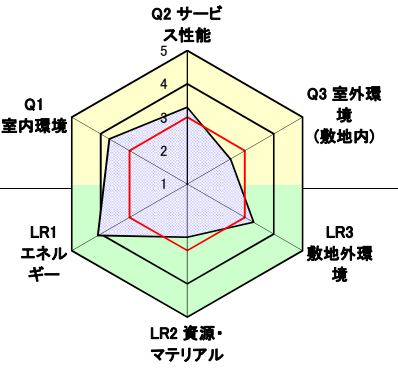


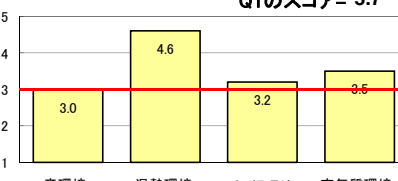
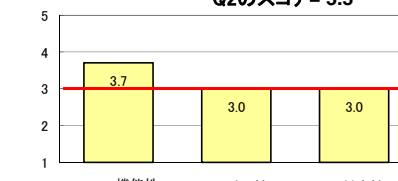
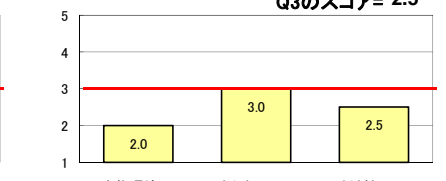
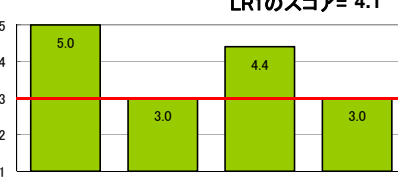
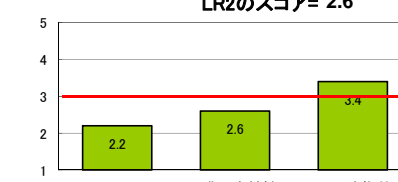
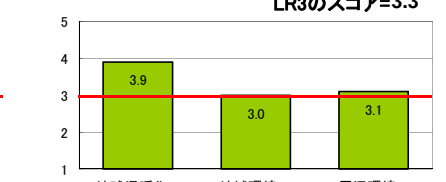
CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版、名古屋市建築環境配慮制度運用マニュアル2014 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2014(v.1.22)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)南区鳥栖二丁目集合住宅	階数	地上7F		
建設地	名古屋市南区鳥栖二丁目1403番、	構造	RC造		
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	116 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅、	評価の段階	基本設計段階評価		
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2015年12月9日		
敷地面積	1,326 m ²	作成者			
建築面積	635 m ²	確認日	2015年12月14日		
延床面積	2,493 m ²	確認者			

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>= BEE1.4</p> <p>☆☆☆☆☆ A: ☆☆☆☆☆ B: ☆☆☆☆☆ C: ☆☆☆☆☆</p> 	<p>☆☆☆☆☆☆</p> <p>☆:100%超 ☆☆:100% ☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%</p> <p>標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.7</p> 	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3</p> 	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5</p> 
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1</p> 	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.6</p> 	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.3</p> 

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>外観として、淡い色合いの外壁とガラス手すり・格子手すりを採用することで、街並みに対して圧倒感のない計画とした。</p>		<p>その他</p> <p>-</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>エントランスに間接照明を設けることで、落ち着いた感のあるエントランスとした。 また、内装材はF☆☆☆☆を使用し、シックハウス対策に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>外装材をタイル仕上げとし、維持管理の容易性を高めた。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物を敷地の南側に配置することにより、奥行きのある計画とした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>全ての住戸が2方向以上の開口部を有し、自然換気を活用できる計画とした。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>ノンフロン断熱材を使用し、地球温暖化対策に配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>広告物照明がなく、外に漏れる光に対して配慮した。 また、敷地内車路を確保することで、周辺の交通量抑制にも配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される